

## ➤ 経営者の3つのフォロースタイル

- ITの構想から具体的なITの検討、ITの選定・導入など、ITに関するプロジェクトには多くのものがあります。
- 検討するテーマやITの内容によって、経営者がフォロースタイルを変えていくことは、効率的で効果の高い成果が期待できます。
- このフォロースタイル名は一般的な名前ではありませんが、ITが苦手な経営者がイメージを持ちやすくするために、筆者がつけた名前です。

## ➤ まんじゅうフォロー

- ITのなかには、重要度の低いITや難易度の低いITが多くあります。
- このようなITのフォローはまんじゅうフォローが向いています。

## ➤ 栗ようかんフォロー

- ITのなかには、重要度の高いITや難易度の高いITが含まれます。
- このようなITのフォローは栗ようかんフォローが向いています。

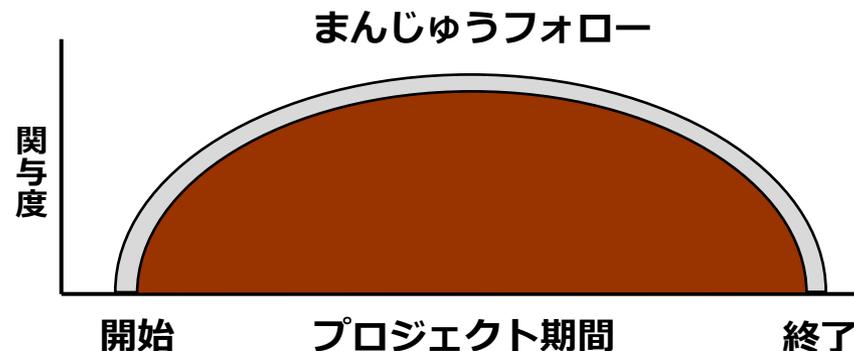
## ➤ えだまめフォロー

- ITのなかには、新規事業のITや、初めて取り組むITがあります。
- このようなITのフォローはえだめめフォローが向いています。

## ➤ まんじゅうフォロー

- ITのなかには、重要度の低いITや難易度の低いITが多くあります。
- このようなITのフォローはまんじゅうフォローが向いています。
- SaaSやクラウドを利用するITのなかには、代替が容易なITもありますので、これらのITも導入リスクが低いITといえます。

- まんじゅうを半分に切って、横から眺めると下の図のようなイメージになるでしょう。
- あんこの部分が、IT担当やITベンダーが作業するボリュームを示しています。
- まんじゅうの皮の部分が経営者が関わるボリュームのイメージです。
- 経営者はITのプロジェクトの最初から、最後まで薄く均等に関わっていくイメージです。この薄くという点が重要なポイントです。



## ➤ 栗ようかんフォロー

- ・ ITのなかには、重要度の高いITや難易度の高いITが含まれます。
- ・ このようなITのフォローは栗ようかんフォローが向いています。
- ・ クラウドを利用するITのなかには、代替が簡単にできないITもありますので、これらのITは導入リスクが高いITといえます。

- ・ 栗ようかんを半分に切って、横から眺めると下の図のようなイメージになるでしょう。
- ・ 栗の部分、IT担当やITベンダーが作業するボリュームを示します。
- ・ 栗以外の部分が経営者が関わるボリュームのイメージです。
- ・ 経営者はITのプロジェクトの最初と最後に多く関わっていますが、途中も関わるイメージです。
- ・ 関わり方に強弱があるという点が重要なポイントです。

栗ようかんフォロー



## ➤ えだまめフォロー

- ・ ITのなかには、新規事業のITや、まったく初めて取り組むITがあります。
- ・ このようなITのフォローはえだまめフォローが向いています。
- ・ Saasやクラウドを利用するITであっても、途中途中で継続可否の判断が発生するため、フェーズごとに深く関わる必要があります。

- ・ えだまめを半分に切って、横から眺めると下の図のようなイメージになるでしょう。
- ・ まめの部分が、IT担当やITベンダーが作業するボリュームを示しています。
- ・ えだまめの皮の部分が経営者が関わるボリュームのイメージです。
- ・ 経営者はITプロジェクトのフェーズの開始と終了に深く関わっていくイメージで、フェーズごとに深くという点が重要なポイントです。

えだまめフォロー

